

1 はじめに

日本獣医師会においては、女性獣医師の活躍推進を図ることを目的として平成25年に「女性獣医師支援特別委員会」が設置された。女性獣医師だけに着目するのではなくすべての獣医師が活躍しやすい環境づくりをめざし、獣医師の就業環境等に関する現況調査、就業継続のための方策の検討等を行い、「女性獣医師が活躍しやすい環境はすべての獣医師が活躍しやすい環境である」をコンセプトに、必要な対策や具体的な取り組み等についての提案を平成27年の報告書「女性獣医師がより活躍できる環境づくりに向けて―獣医師全体のライフ・ワーク・バランス改善のために―」にまとめた。

平成27年に前委員会で提案された対策を実現するために、「女性獣医師支援対策検討委員会」が設置された。この委員会では対策を進め、さらなる課題について議論し、進捗状況と残された課題、女性役員に関する2020年目標等を平成29年に報告書「女性獣医師がより活躍できる環境づくりの推進―獣医師全体のワーク・ライフ・バランス改善のために―」にまとめた。

平成29年からの委員会では女性役員に関する2030年目標を設定した。

令和元年には“支援”を“活躍推進”に変えた「女性獣医師活躍推進委員会」が設置され、この委員会では調査やアンケートの定例化、日獣ロゴの活用等を報告書において提案した。

令和3年からは、地方獣医師会の役員、診療施設長、大学教員等の女性が委員となり、これまでに提案された対策について、改善を加えながら取組を進めるとともに、進捗状況や残された課題、目標の達成状況等を検討し整理した。

令和5年からの現委員会では、「獣医師の就業環境等に関する現況調査」が、前回の実施から10年を経過しており、獣医師を取巻く環境も大きく変化していることから、調査の実施について検討し、令和6年に改めて調査を実施した。また、毎年度実施している女性獣医師就業支援対策に係るアンケートに、新たに調査項目として「地区学会で託児所を設置されたか」を令和6年から追加して実施した。

本報告書では、委員会が提案した事業の具体的な進捗状況や残された課題、10年ぶりに実施した現況調査の結果必要と考えられた新たな課題であるハラスメント対策等についてまとめた。これを参考に地方獣医師会、大学、関係団体、それぞれの職域、職場等で、すべての獣医師が活躍しやすい環境の実現に向けた取組を進めていただきたい。